煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集＊渡部
TEL 046-223-0110

特殊詐欺の被害防止活動

◎　新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に乗じた詐欺の手口に注意！

県内各地で、ワクチン接種が始まっています。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に伴い、電話やＳＮＳで

「ワクチンを優先的に接種するには、予約金が必要です。10万円、振り込んでください。」

「居住状況のアンケートにお答えください。」

「ワクチンの開発に投資できます。」

と**お金を要求したり、個人情報を聞き出そうとする**不審電話にご注意ください。

◎　県内で特殊詐欺が増加中！

本年に入り、特殊詐欺全体の認知件数は昨年比で減少しているものの、**月別で見ると増加しています。**

特に、役所職員をかたり

「医療費の還付があります。」「税金の還付があります。」

などと言い、駅やコンビニエンスストアの無人ＡＴＭを操作させ、犯人の口座に預貯金を振り込ませる還付金詐欺が増えています。

『ＡＴＭ＋高齢者＋携帯電話＝サギ！』

ＡＴＭを利用時に、上記の高齢者を発見した際には、還付金詐欺を疑い、お声掛けをお願いします。

防災意識の高揚

～普段からの防災・備災意識を～

防災意識の高揚

八月三〇日から九月五日は「防災週間」、九月一日は「防災の日」です。自然災害の備えが大切です。いざという時に備え、防災用品や食料品の準備をして災害に備えましょう。

日頃の備え

～　家族で防災会議を行いましょう　～

◎　身の安全を確保できる場所を確認しましょう。

家族で防災会議を行い、家具の転倒防止や安全な場所を確認しましょう。

◎　家具の転倒防止器具を取り付けましょう。

家具の転倒防止器具は、地震などの揺れで家具が倒れるのを防ぎます。

◎　固定した家具の場所や避難経路の確認をしましょう。

地震などの揺れで家具が倒れる危険性などを確認し、安全な避難経路を確認しましょう。

◎　地域の避難場所や避難経路の確認をしましょう。

地域の避難場所や避難経路を確認しましょう。

事　件　記　録　板

６月中旬から７月中旬までの事件は、

特殊詐欺、空き巣、侵入盗等の発生はありませんでした。

警察では、金融機関にお願いして、高額出金のあった場合は、通報をお願いしています。これは、間違っても特殊詐欺に遭わないための措置です。どうかその点をご理解とご協力を願います。

駐在所の独り言　～老後２０００万円不足問題？は本当か？！何故立ち消えになったのか？！～

２０１９年６月に金融庁から老後２０００万円不足すると話題で炎上し、若者を中心に不安からデモに発展するまで問題が拡大しました。でもその後、ぴったりとこの話題が取り上げられることがなくなりました。何故でしょうか。その理由の真意を知りたいと調べ考えてみました。断言できないものの、その話題の不安が解消した為に収束したのではと思うのです。では２０００万円不足するという根拠は、何故なのかと言うと、大雑把ですが、老後２人の夫婦の生活費の月の平均約２７万円との事と月の年金平均が約２２万円なので、毎月約－５万円の赤字になると言うことで、毎月（約５万円）×１年（１２回）×年金受給開始の６５歳から９５歳までの（３０年）となり、マイナス約２０００万円との構図のようです。でもここでこの計算式に疑問を感じる人が多くいるのでは？と思うのです。８０歳から９０歳代までの夫婦２人で月に２７万円が本当に必要になるのか？です。確かに介護費用等は掛かるのかも。でもこの問題は、個々によって年金額や生活費も全く異なりますし一概に語れない内容で、また富豪と呼ばれる別格な裕福な人も入れて平均値を取るのは正確な数字ではないと思う。この為に平均の生活費が極端に上昇しているのではと思うのです。このような問題を公表する理由は、生活の不足分は、自助努力と併せて日本経済活性化の為にも株の投資をしたりと資産運用を勧める意図があるかとも思いました。その理由が正確に伝わらず、混乱を招いたかとも思うのです。お金の運用は、全財産を投資するのは絶対に避けたいですね。ハイリスクを選べばハイリターンですが、ローリスクは、ローリターンです。欲を出して危険を冒せば危険も伴うものです。今投資で注目されているのが、税制上優遇される iDeco と積み立て Nisa です。お金の運用は自由であり、自己責任ですが、やるのであればしっかり勉強もして自己責任を念頭に考えて行動して欲しいと願っています。悲観する前に情報を集める事が大切かと思います。